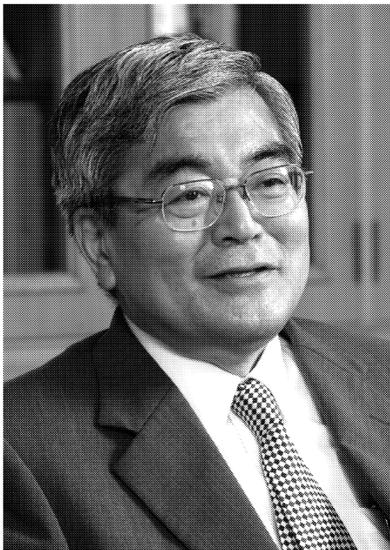


産業界に貢献する大学目指す 九州工業大学



九州工業大学 松永守央学長

「うみだす」「きわめる」「つなげる」をキーワードに、学生の力と可能性を磨いている九州工業大学。2009年に創立100周年を迎えた。歴史ある学府だが、そこにとどまることなく、次の100年に向けた布石を次々と打っている。技術に堪能な人々の「土着」の養成を目指して、過去100年は多くの優秀な技術者を産業界に送り出した。今後はこれに加えて世界に通じるグローバル人材の育成を積極的に進める。ものづくりが国益につながるが、必要不可欠な技術理解した世界人を養成するさまざまな「ニュー」が用意されている。そこで地域経済への貢献やグローバル人材の育成について松永守央学長に聞いた。

国際人材育成がテーマ

「マレーシアアトラダ」海外初の教育研究拠点「MSC」を開設して1年がたちました。「初年度約100人の学生が教育プログラムに参加した。渡航当初は語学も含めて戸惑うようだが、帰国後は「満足した」「また海外へ出たい」と答える者が多い。グローバル人材育成は本学の主要テーマ。大学院生は全員海外へ出すが、学部生も積極的に留学できる仕組みをつくる。この数年は短期も含めて米国や韓国などに毎年400人程度が出向しているが、近い将来は1000人を目標にする。

「留学」についての課題は何でしょうか。「渡航前に海外対策の準備をした学生も自分の力不足を感じた。英語でのコミュニケーション能力を高めることが課題だ。このような課題に対する取り組みとして「アトラダ・センター」を開設。留学生と日本人学生の共同学習、共同生活、研修、国際交流事業などを実施し、グローバルマインドをさらに研ぎ磨く場としたい。

「大学改革実行プラン」など、改革の進捗はどのようになっていますか。「今年度期待している分野は何でしょうか。産学連携活動と連携する「リサーチ・アドミニストレーション・センター」の成果を教えることだ。

「若手研究者を育て、大きなプロジェクトを生み出すための必要な制度、競争的資金の獲得や研究グループ形成に貢献している。ただ、どういったタイプの研究者を育てていくか、教員の教育外部との連携など思った以上に難しいと感じています。今年度期待している分野は何でしょうか。

「企業が考える産学連携の成果は、投資金額に対してどれだけ回収できたか。研究開発までうまくいって製品化して、売れるまでにはなかなか至らない。産学連携の価値とは何かを真剣に考える時に来ている。教育はもちろんだが、産業界に貢献できる大学である必要がある。そのためには基礎研究のレベルアップはもちろんだが、教員の意識改革も必要だ。急には無理でも小さな成功を積み重ねていけば、10年で大きな変化が起きるだろう。」

「ガバナンスの改革は相違ないが、一方で教育改革は道半ばだ。工学系大学として10年、15年を先を越した議論を続けている。グローバルコンピテンシーをつくり出すのが、これに必要だ。グローバルコンピテンシーをつくり出すのが、これに必要だ。グローバルコンピテンシーをつくり出すのが、これに必要だ。

「一つは医工学連携。医療機関、企業を巻き込んで製品化を進める。よく医工学連携は難しいと言われるが、これはビジネスにつながるから難しいから。二つ目はロボット。いろいろな分野に多面的に使われるロボットを研究から実用化に移行させたい。半分は機械のようなロボットでも良いと思う。原発事故後、安全のために、資源探索など、基礎研究にこだわらずに製品化できるものを育てたい。」

「産学連携で多くの成果を生み出しています。今後の目標を教えてください。」

「企業が考える産学連携の成果は、投資金額に対してどれだけ回収できたか。研究開発までうまくいって製品化して、売れるまでにはなかなか至らない。産学連携の価値とは何かを真剣に考える時に来ている。教育はもちろんだが、産業界に貢献できる大学である必要がある。そのためには基礎研究のレベルアップはもちろんだが、教員の意識改革も必要だ。急には無理でも小さな成功を積み重ねていけば、10年で大きな変化が起きるだろう。」

海外教育研究拠点MSC

最重点海外連携大学の一つがマレーシアアトラダ大学(UTARA)。ここに設置された海外教育研究拠点「MSC」(マレーシアアトラダ)はASEAN東南アジア諸国連合の中心に位置する。近年日本企業が中国に代わって高い関心を示し始めた。英語を常用しているだけでなく、韓国語でも、多民族、多宗教の社会でありながら、治安が安定しており、まさに日本人が世界を学ぶ好条件がそろっている。

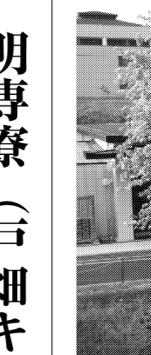
ここに教授を含む3人の職員が常駐し、現地職員と協力して、学部生、大学院生の真に役立つグローバル教育と、PMと共同した高いレベルの研究成果を上げ続けることを目標としている。

2013年度は100名に及ぶ学生が教育プログラムに参加し、8割以上の学生が大きな満足度を報告している。



明専寮 (戸畑キャンパス)

老朽化のため廃寮となった「明専寮」を2013年4月に再開した。従来の寮自治寮ではなく、国際社会で活躍できる高度技術者を養成する。2013年度は、国際社会で活躍できる高度技術者を養成する。2013年度は、国際社会で活躍できる高度技術者を養成する。



ラーニングアゴラ棟(飯塚キャンパス)

2014年3月31日、飯塚キャンパスに「ラーニングアゴラ」を開設した。アゴラは古代ギリシャ語で、人々が集まる広場や市場という意味がある。

「アゴラでは、いろいろな店を出したり、イベントを行うイメージで、グループワークや自習などの学習はもちろんだが、国際交流、学会、講演会、市民講座なども行えるような多目的空間として整備した。隣接している食堂からは自由に食事堂からは自由に食事

「アゴラでは、いろいろな店を出したり、イベントを行うイメージで、グループワークや自習などの学習はもちろんだが、国際交流、学会、講演会、市民講座なども行えるような多目的空間として整備した。隣接している食堂からは自由に食事堂からは自由に食事

「アゴラでは、いろいろな店を出したり、イベントを行うイメージで、グループワークや自習などの学習はもちろんだが、国際交流、学会、講演会、市民講座なども行えるような多目的空間として整備した。隣接している食堂からは自由に食事堂からは自由に食事

「アゴラでは、いろいろな店を出したり、イベントを行うイメージで、グループワークや自習などの学習はもちろんだが、国際交流、学会、講演会、市民講座なども行えるような多目的空間として整備した。隣接している食堂からは自由に食事堂からは自由に食事

「アゴラでは、いろいろな店を出したり、イベントを行うイメージで、グループワークや自習などの学習はもちろんだが、国際交流、学会、講演会、市民講座なども行えるような多目的空間として整備した。隣接している食堂からは自由に食事堂からは自由に食事

「アゴラでは、いろいろな店を出したり、イベントを行うイメージで、グループワークや自習などの学習はもちろんだが、国際交流、学会、講演会、市民講座なども行えるような多目的空間として整備した。隣接している食堂からは自由に食事堂からは自由に食事

TOPICS

海外教育研究拠点MSC

学が好条件がそろっている。

ここに教授を含む3人の職員が常駐し、現地職員と協力して、学部生、大学院生の真に役立つグローバル教育と、PMと共同した高いレベルの研究成果を上げ続けることを目標としている。

2013年度は100名に及ぶ学生が教育プログラムに参加し、8割以上の学生が大きな満足度を報告している。

国際社会で活躍できる高度技術者を養成する

老朽化のため廃寮となった「明専寮」を2013年4月に再開した。従来の寮自治寮ではなく、国際社会で活躍できる高度技術者を養成する。2013年度は、国際社会で活躍できる高度技術者を養成する。2013年度は、国際社会で活躍できる高度技術者を養成する。

「アゴラでは、いろいろな店を出したり、イベントを行うイメージで、グループワークや自習などの学習はもちろんだが、国際交流、学会、講演会、市民講座なども行えるような多目的空間として整備した。隣接している食堂からは自由に食事堂からは自由に食事

AsahiKASEI

昨日まで世界になかったものを。

HIP、EBW、各種溶接技術は豊富な経験・施工実績の黒木工業グループ

代表取締役社長 黒木 重矢子

株式会社 黒木工業所
黒木工業株式会社
黒木コンポジット株式会社

〒806-0012 北九州市八幡西区陣山3-4-20
TEL:093-671-0865 FAX:093-662-4510

自走式カプセル内視鏡のご紹介

◆全長24.5mm×直径11mmの円筒形
◆超小型のカメラや電池、プリント基板を搭載。
◆飲み込んだカプセル内視鏡は特定個所まで遠隔操作で走行。
◆病変が疑われる生体採取も可能。

株式会社ワークス

本社 〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町虫生津 1445-1 TEL: 093-291-1778 FAX: 093-291-2728

セラミックスの様々な可能性に挑戦します。

◆耐火物
◆ファインセラミックス
◆ファーンズ
◆エンジニアリング
◆景観材

黒崎産業株式会社

〒806-8586 北九州市八幡西区東浜町1-1 Phone:093-622-7224 FAX:093-622-7200

がんばれ油圧!

全力で貴社の油圧装置をサポートさせていただきます。

目視検査と共存する「人の目に近い」外観検査装置

生産効率と品質の向上を同時にかなえる最上の検査システムで貴社をサポート致します。

油圧メンテナンスと外観検査装置でものづくりを守る

株式会社 リョーワ (有田事業所) ☎093-436-0113 京都府京田辺市島越町10番5号 (本社) ☎093-873-3100 戸畑区小芝2丁目8番8号

原動力は北九州。動かすのは世界。

YASKAWA

安川電機は2015年に100周年を迎えます

産業用ロボット、インバータ、サーボモータ。3つの製品で世界一。世界中のものづくりを支えてきたメカトロニクス技術をもっと人と地球のために。安川電機は、北九州から、世界へ、そして未来へ向かって、新たな挑戦を始めています。

株式会社 安川電機
北九州市八幡西区黒崎城山2番1号

大光炉材株式会社

独自の技術力でダイナミックな展開をしています
不定形耐火物、ファインセラミックス製造販売

http://www.taiko-ref.com/
TEL 093-871-1631

株式会社テック

「熱の技術を形に変えて」をモットーとし豊富な経験と知識でお客様のニーズに応え、社会へ貢献し続けます
工業炉設計製作、耐火物施工

http://www.taiko-eng.com/
TEL 093-861-0153

住所 〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1番1号

燃焼しにくい画期的なマグネシウム合金製品を取り扱う非鉄金属のパイオニア

◆主要製品: 鋼製ステップフロー・純銅羽口・冷却器・ランズノズル・チタン電極
◆新製品: 電熱性マグネシウム合金製品
<応用例> 開発中

株式会社戸畑製作所 代表取締役社長 松本和朗
本社 〒800-0211 北九州市小倉南区新倉部2丁目1番1号 TEL:0931-471-7789 FAX:0931-472-0124
E-mail: tosh@tobata-s.com http://www.tobata-s.com

Connect

Kyushu Institute of Technology

http://www.kyutech.ac.jp

つなげる

いろんなモノやモノを自由につなげる好奇心と発想力こそが科学を進化させ、私たちの毎日を豊かに、面白くしてきました。「つなげる力」をテーマに、教育・研究を進める九州工業大学。キャンパスには、人、技術、そして世界に自分をつなげるチャンスがあります。ジャンルを超えた情報や人々との出会いを通して、高度な知識と広い視野、コミュニケーション能力を備えた人材を育成。「九工大ブランド」と呼ばれるほどの質の高い就職にも結びついています。

2014年3月学部・大学院卒業生 就職者上位企業

順位	企業名	就職者数	順位	企業名	就職者数
1	日立製作所	13	8	東芝	7
2	三菱自動車工業	13	9	トヨタ自動車	7
3	オービック	12	10	日産自動車	7
4	三菱電機	12	11	パナソニック	7
5	スズキ	11	12	富士電機	7
6	九州電力	8	13	ヤマハ発動機	7
7	本田技研工業(ホンダ)	8			

国立大学法人 九州工業大学

工学部 / 大学院工学部(戸畑キャンパス) 情報工学部 / 大学院情報工学部(飯塚キャンパス)
大学院生命体工学部(松永キャンパス)

福岡県北九州市戸畑区山崎町1-1 093-884-3007(総務課) 九工大 検索